

[ホームページビルダーでおぼえておきたい基本的ポイント]

ホームページビルダーには多様な機能があり、操作方法も幾通りかあります。これらの機能の中には実用性のないものも多くあり、すべてをマスターする必要はありません。これらの中から、ご自分のページ作成に必要なものだけを選んで身に付ける事も大切です。このノートは、[ホームページビルダーでおぼえておきたい基本的ポイント]を選んで記載しました。

1. [初期設定]

初期設定は、メニューバーの[ツール] [オプション]を選択して行います。一度設定するだけで OK です。ファイル作成前に行います。

[設定する項目] 下の < > は、[オプション]の中の該当するタブです。

[標準モード]を選択する。 <一般>

[HTML 構文エラーを自動修正する]に[チェック]を付ける。 <一般>

[標準モードの設定]を選択する。 <表示>の最下段

[MS ゴシック][サイズ 12]とする。 <フォント>

[拡張子を html にする]。 <ファイル>

[バックアップファイルを作成する]の[チェック]をはずす。 <ファイル>

[インデントを 0 にする][ソースの自動改行にチェックを付ける][色を付けるにチェックを付ける(外しても構いません)]。 <ソース編集>

2. [新しいファイルを作成する手順](復習ノート No1 改訂版と重複する部分もあります)

ファイルは[標準モード]で作成します。新規作成画面を開きます。

[ページのプロパティ画面]を開き、[ページタイトル][背景色]を設定します。

画面の開き方 [編集から属性の変更を選択] 画面を右クリックして画面を表示
[body] [属性の変更] いずれでも同じです。

背景色には[単色]と[カラーコード]の方法があり、カラーコードの場合は[#]が必要です。

又、背景に画像を使用する場合は[参照]から[背景画像]のファイルを選択します。

3. [表]によるレイアウトを設定します。(レイアウトテーブルと言います)。

表の作成は割愛しますが、ビルダーV9以降をお使いの方は、[表の挿入]画面の[表のスタイルを適用する]チェックをはずしてください。

はずすには、[ツール] [オプション] [編集]から[表の挿入時にスタイルを適用する]のチェックをはずしてください。

レイアウトテーブルを使ってファイルを作成した後、枠線を消去することが必要ですが、消し忘れのケースが散見されます。要注意です。

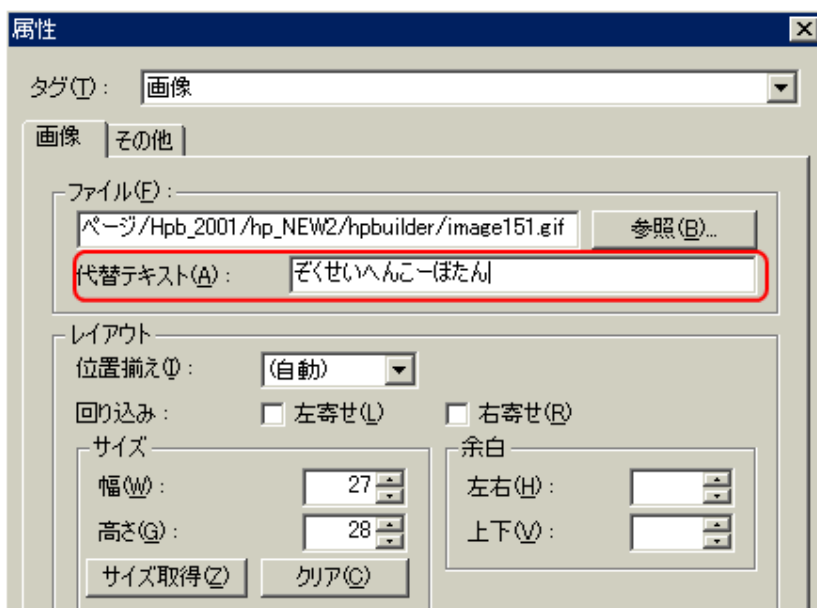
4. [画像に関する機能]

画像に関する機能としては、大別して[画像の[挿入]]に関する機能と[画像の[編集]]に関する機能]があります。

[ウェブアートデザイナー]による機能。

[画像の挿入] [編集] [写真]を選択して、画面の指示に従って進める。

既にサイズを決めて保存の場合は[アイコン]で挿入する。



挿入時には[代替テキスト]を書きましょう。
[回り込み]を設定します。
[余白]を設定します。

[アルバム、サムネイル、スライドショー]の作成。

ホームページビルダーを使って[アルバム][サムネイル][スライドショー]を作成することが出来ます。

これらの画像は出来るだけ、横長、縦長を揃えることがファイルの見栄えを良くします。予め画像処理を済ませ、同じフォルダに保存することをお奨めします。

[サムネイル]の拡大画像を[中央]に貼り付けるには、各画像毎のファイルを作る必要があります。

[ロゴの挿入]

メニューバーの[挿入] [ロゴ]を選択して、ロゴの作成を行うことが出来ます(ツールバーのアイコンからも操作出来ます)。見出し等に利用出来ます。

5. [リンクの設定]

[リンク]には、[同じホームページの中で、別のファイルにジャンプする][同じホームページの中で、特定の箇所にジャンプする][他のホームページにジャンプする]等の種類

にわかれませんが、基本的には[ページ間のリンク]です。



(ページ間のリンク)

[ファイル]を選択してから[参照] をクリックして、リンクするファイル名を選択して OK を押します。

(ページ内の特定箇所へのリンク)

[ラベルを付ける]タブをクリック。リンクする文字列の範囲を指定。

半数鋭角で[ラベル名]を書く。

[ラベルへ]を選択して、ラベルボックスボタンで先程のラベルを選択して OK です。

リンクの解除

設定したリンクを解除するには、設定した画像または文字列を反転させ、メニューバーの[編集] [かんたん編集] [リンクの解除]をクリックします。又、右クリックで表示画面の[リンクの解除]をクリックしても結果は同じです。

リンクの修正

リンクを修正するにはリンクが記載されているファイルを開き、メニューバーの[ツール] から[URL エディタ]を選択し、表示された画面の[リンク]をクリックします。リンケー一覧の中から修正するリンクを選択し[参照]ボタンを押し、正しいリンク先ファイルを指定します。指定が終わったら[更新]ボタンを押して OK です。

6. 開設に向けての準備作業(既開設者は必要ありません)

Web サイトの作成を行います。

作成が終わったファイルをチェックします。

各人の加入しているプロバイダのホームページで開設の条件などを確認します。

プロバイダーのサポートファイルを読んで、条件などを確認します。使用容量の条件もお忘れなく。

申し込み手続きの確認。

申し込み時には、プロバイダーと契約時のパスワードが必要かと思しますので、契約時の書類も確認しておいてください。

ファイル転送に必要な項目の確認。

ホームページの申し込みが終わると、所定の事項を記載したファイルがメールまたは郵送

されますので、パソコンにコピーする他自分で確認できる場所に保存してください。

7. Web サイトの作成

Web サイトを作ると[リンクの修正][ファイル名の変更]など、ページの管理を効率的に行うことができます。

[サイト]の作成は、メニューバーの[サイト]から[サイトの新規作成]を選択して、後は画面の指示通に行ってください。

[サイト]が作成されると画面に[ビジュアルサイトビュー]が表示され、サイトのリンク状態がツリー状で表示されます。

8. ファイルのチェック作業

転送前にファイルを点検して不備な点を修正します。修正する主な項目は[ファイル名]が英数半角で書かれているか、[代替テキスト]が書かれているか、[カナ文字]が全角で書かれているか等です。

チェックする方法は、[個別にチェック]と[まるごとチェック]の2通りありますがメニューバーの[サイト]から[まるごとチェック]を選択してチェックされることをお奨めします。

ファイルの容量の確認をしてください。プロバイダーに申請した容量よりも作成したファイルの容量が多いと転送は出来ません。[ビジュアルサイトビュー]の一覧を開くと、作成したサイトの総量が表示されますので是を参考にしてください。

9. 転送設定

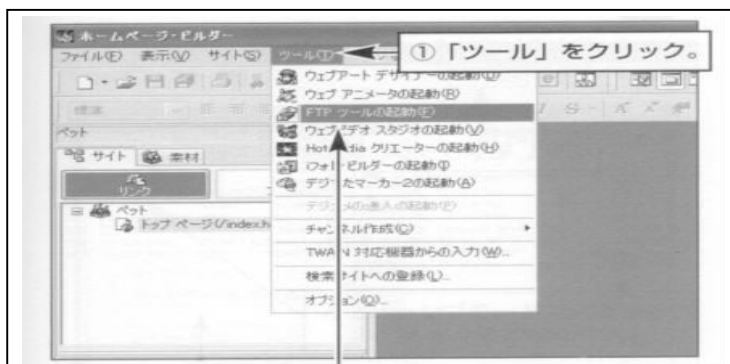
ファイルのチェックが終われば後はファイルを転送するだけです。

ファイルの転送には[サイト転送]と、[FTP ツール転送]の2通りがありますが、公開後の更新などを考えると[FTP 転送]はどうしても覚えておく必要があります。

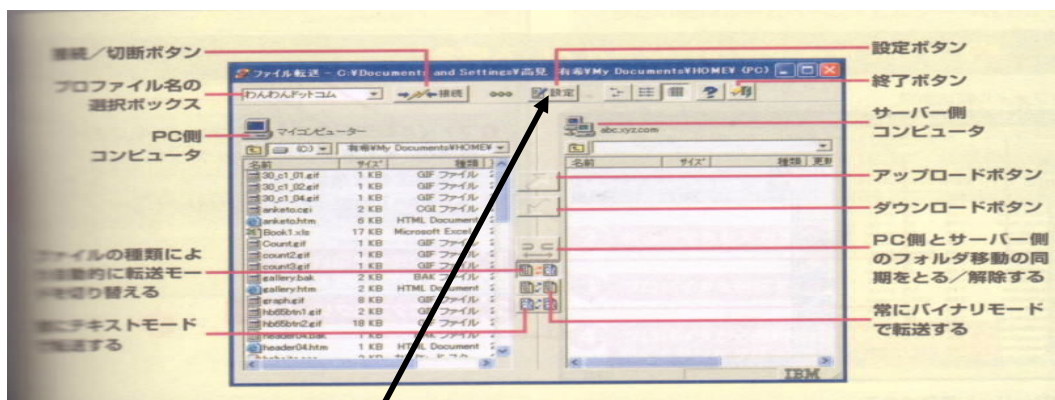
この会では原則として[FTP 転送]を使用する事としていますので、ご理解下さい。

[ファイルの転送を行うにはその前に[転送設定]を行う必要があります。

[転送設定]は、[ツール] [FTP ツールの起動]を選択して、表示された画面の[設定]ボタンを押して[ファイル転送設定]画面で行います。



メニューバーの[ツール] [FTP ツールの起動]を選択してください。
下の画面が表示されます。



この画面の中央にある[設定]ボタンをクリックすると、[ファイル転送設定]画面が表示されます。(転送設定は、メニューバーの[サイト]からも設定できますが、この会では、上の画面から設定します)。

[サーブプロファイル] どんな名前を付けても構いません。日本語でも可です。

[プロバイダーの選択] リストの中からご自分のプロバイダーを選択してください。リストにない場合は[その他]を選択してください。

[FTP サーバー名] [プロバイダーの選択]を終えると[FTP サーバーの選択]ウインドウが表示されますので、その中からご自分に該当するものを選択してください。

[FTP アカウント名] プロバイダーから指定されたアカウントを記入します。

[FTP パスワード] プロバイダーから指定されたパスワードを記入します。

(註) 契約したときのものとは違います。ホームページの申し込みで新たに取得したものです。

右の枠に、作成した[プロファイル]が表示されます。

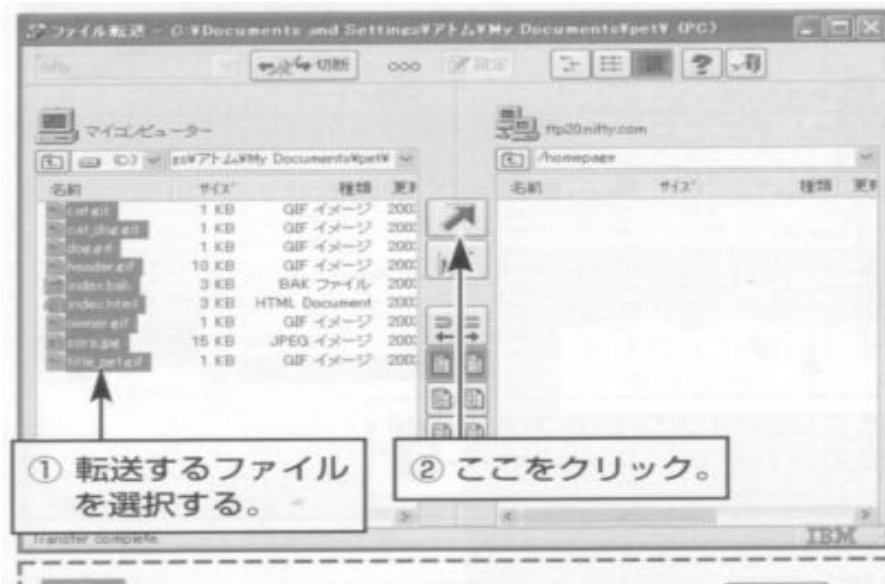
[サーバーの初期フォルダの設定] [指定しない]を選択します。但しプロバイダーから指示ある場合は此を書き込みます。これらを設定して[OK]をクリックしてください。

10. ファイルの転送

[接続]ボタンを押すと、左にご自分のパソコンのファイル、右にサーバーのファイルが表示されます。

[接続]と[設定]の間にある 3ヶのボタンが発光していれば転送可能の状態です。

右のサーバー側に該当するフォルダがあればフォルダを開き、左のファイルの中から転送するファイルを選択します。アップロードボタンを押します。(下図参照)



転送されたファイルが右側に表示されたならば転送完了です。[切断]を押します。
 確認はインターネットを起動し、ご自分の URL を書いてホームページを開いてください。
 転送する過程で色々なエラーメッセージが出たり、転送がうまくいかないケースは極当たり前です。必ず原因がありますのでそれさえ見つければ解決します。

転送中のエラー

[ユーザーID やパスワードが間違っているというメッセージが表示される]

[サーバーへの接続が出来ないというメッセージが表示される]

先程の[ファイル転送設定]の画面を開き、設定項目を確認します。又は[サイト] [転送設定] [転送設定]から[編集]で確認出来ます。

[半角・全角] [大文字・小文字]

[転送先のフォルダの指定が間違っているというメッセージが表示される]

[転送先フォルダ]とは、ホームページを保存する場所としてプロバイダーが決められている場所です。プロバイダーから指示された通りに英数半角で正しく入力されているかを確認してください。

[特定のファイル名が表示されている] ファイル転送中にエラー発生。

ファイル名に英数半角以外の文字が含まれていないかの確認。

[その他のエラーの原因]

サーバーの空き容量をオーバーしているケース。増量を行った後再度転送する。

メモ 転送前に確認しておく事項

転送中のエラー発生を防ぐ為にも転送前に下記の事項を確認しましょう。

[プレビュー]画面で、作成したファイルの[画像が正しく挿入されているか][リンクは正

常に作動しているか[ページのレイアウト(表枠線の消去、ファイルの位置など)が、正しく表示されているか]等を確認してください。

トップページのファイル名が index.html になっているかを確認してください。

転送先サイト(FTP サーバー名とフォルダ名)を確認してください。

開設の手続きをしたときにプロバイダーから指示された事項です。FTP サーバー名は、プロバイダーによって違う呼び名のケースもあります。又、フォルダ名も、[パス名][ユーザーパス名]等と呼ばれるケースもあります。プロバイダーの指示に従って、大文字・小文字・記号などを正しく記入してください。

[FTP アカウント名]も、プロバイダーによっては[メールアドレス][ホームページ ID][ユーザー名]等と呼ばれるケースもあります。いずれも[半角英数]です。

文責 今井康夫